

テーマ／伝統文化の伝承

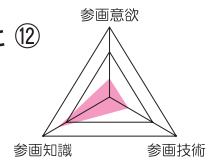
3 「伝統文化メッセ ～地域の伝統文化にふれよう～」

参加対象：伝統文化に興味のある小学生以上の方 募集人員：30～50名
 会場：町体育館



養われる
地域
参画力

- 地域の文化や歴史伝統行事などに関する情報・知識を持っていること ⑫
- 地域が抱えている課題に関する情報・知識を持っていること ⑪
- 地域を回るなどして、地域の課題や長所を発見しようとする事 ③



講座全体のねらいと流れ

地域の伝統文化を見たり体験したりすることで、その素晴らしさや抱えている課題を知り、自分もかかわろうとする意欲を育てる。

- アクティビティ① 知っていますか、あなたのまちの伝統文化 【20分】
- アクティビティ② 見て、聞いて、チャレンジしよう伝統文化 【120分】
- アクティビティ③ 自分がかかわれることを見つけよう 【40分】

知っていますか、あなたのまちの伝統文化 【20分】

準備物 伝統文化マップ

ねらい

自分たちのまちには、古くから地域に伝わる伝統文化が数多くあることがわかる。

- ① 自分が知っている、地域に伝わる伝統文化の名称を紙に書く。
- ② 4～6人のグループをつくり、自分たちが書いた紙を見せ合い、知らなかった伝統文化について、書いた人から説明を受ける。
- ③ グループごとに地域に伝わる伝統文化マップを見て、いくつ知っていたかを確認する。
- ④ グループの中でだれも知らなかった伝統文化について、担当者より説明を受ける。

🔍 アドバイス

名前だけでも知っているものも記入するように、伝えましょう。

🔍 アドバイス

自己紹介をしてから、自分の書いた紙を見せ合うようにするとよいでしょう。

🌀 見て、聞いて、チャレンジしよう伝統文化 【120分】

ねらい

地域の伝統文化を見て、聞いて、体験することで、その素晴らしさや抱えている課題を知ることができる。

- ① 体育館などにセットされたいろいろな伝統文化のブースを、参加者が移動し、実演とそれを継承している方々の話を聞く。（1つの伝統文化の簡単な説明、実演で10分程度）
- ② 自分が体験してみたい伝統文化の実演場所に行って、実際に伝統文化を体験する。
- ③ やりがいや困っていることなど、体験する中で感じたことを質問する。
- ④ 体験したいものが複数ある場合は、移動する。

準備物

パネル

🗑️ アドバイス

短時間ですべてが回れるよう、グループ分けやローテーションを工夫しましょう。

🗑️ アドバイス

ブースによって体験する人数が、極端に偏らないように配慮しましょう。

🗑️ アドバイス

たくさんの体験をさせるのであれば、時間を区切り全員移動することも考えられます。

🌀 自分がかかわれることを見つけよう 【40分】

ねらい

伝統文化を体験し、話を聞いた中から自分がかかわれそうなことを見つけ出すことができる。

- ① 最初のグループに戻り、自分が体験してきた感想を発表し合う。
- ② 伝統文化を継承する上で、自分がかかわれそうなことをワークシートに書く。
- ③ グループで発表し合い、いろいろな意見を聞いた後で、これならできそうだというものを1つ決定する。
- ④ 自分で決めたものを実現するための、今後のスケジュール表をつくり、グループで見せ合う。

準備物

ワークシート、スケジュール記入シート

🗑️ アドバイス

思いついたことは、すべて書くように声をかけましょう。

🗑️ アドバイス

できるだけ具体的なスケジュールを立てるように伝えましょう。

付随して期待される効果

- ・参加者と伝統文化を継承する方々の間に交流が生まれ、伝統文化を継承する自主グループに参加することが期待できる。
- ・伝統文化を継承しているいろいろな団体の交流が生まれることが期待できる。

ワークシート

伝統文化、これならかかわれるかもしれない

Q1

自分でもかかわりたいと感じた伝統文化は、どれですか。そして、どんなことならかかわれそうですか？

かかわれそうな伝統文化名

-
-

かかわれそうなことは
どんなことですか？

具体的にできるだけたくさん書きましょう。
(例)活動に参加する。資金集めをする。イベントのポスター作成。など

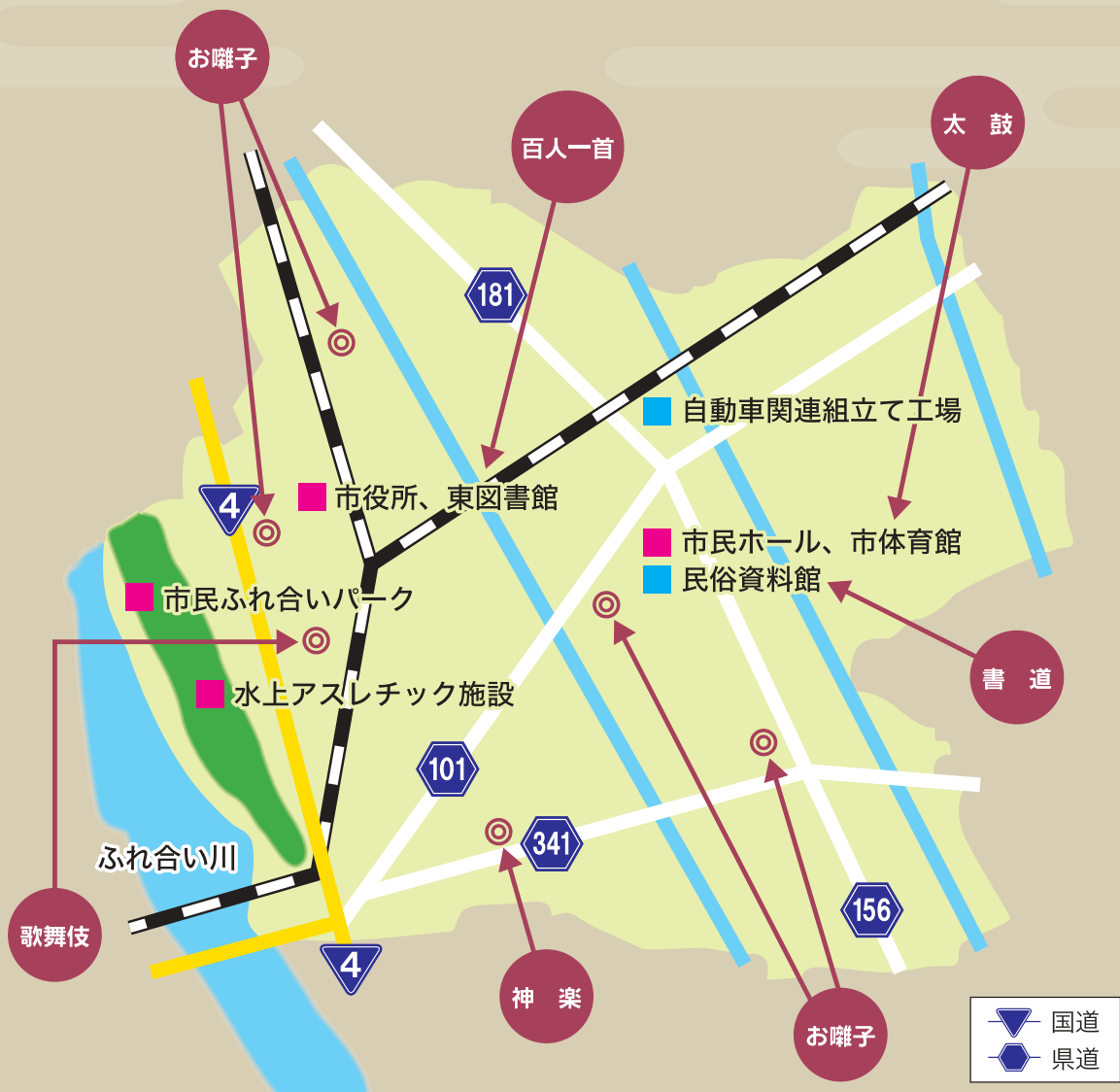
スケジュール表をつくろう!!

Q2

できそうなこと1つを決定して、実現までのスケジュール表をつくりましょう。

何月ごろ	何をするか

伝統文化マップ(例)



※各市町には数多くの伝統文化が継承されています。
市町状況に応じて「伝統文化マップ」を作成しましょう。